環境　経　営活動レポート

対象期間：２０２３年４月～２０２４年３月

株式会社 ヤマト

作成：２０２４年４月２５日

① 組織の概要

1) 事業所名　株式会社ヤマト

2) 代表者名　代表取締役　吉田　孝幸

3) 設立年月日　昭和５８年１０月　１日

4) 資本金　１，１００万円

5) 所在地

本社
〒３３９－００６２
埼玉県さいたま市岩槻区南辻２５番地２

岩槻営業所（産業廃棄物積替保管施設）
〒３３９－０００１
埼玉県さいたま市岩槻区鹿室１番地１

6) 事業内容

廃棄物処理事業 及び 廃棄物管理事業
古物取扱事業、リサイクル事業
一般貨物自動車運送事業、清掃事業

7) 環境管理責任者及び連絡先

武笠　浩一
TEL：048-756-8870　FAX：048-756-9970
E-mail　mukasa@yamato16.co.jp
HP　http://www.yamato16.co.jp

8) 認証・登録範囲　(株)ヤマトの全組織及び全活動

9) 事業規模

2023年度		単位	実績
処理量	産業廃棄物	t	2,258.0
	一般廃棄物		43.6
リサイクル家電回収実績		本	263,182
売 上 高		百万円	668
従 業 員		人	51
床 面 積		㎡	261

＊ 処理量は、受託した産業廃棄物の処理量である。
＊ 床面積は、本社･営業所の延床面積である。

10) 許可の内容及び施設等の状況

許認可一覧

都道府県市	許可区分	許認可番号	許可年月日	有効年月日
茨城県	産廃 収集運搬	00801013221	令和4年2月14日	令和8年10月25日
栃木県	産廃 収集運搬	00900013221	令和3年11月5日	令和8年11月4日
群馬県	産廃 収集運搬	01000013221	令和3年12月 5日	令和8年12月4日
埼玉県	産廃 収集運搬	01101013221	令和2年12月7日	令和7年9月30日
千葉県	産廃 収集運搬	01200013221	令和元年10月1日	令和6年8月24日
東京都	産廃 収集運搬	13-00-013221	令和6年2月25日	令和11年2月24日
神奈川県	産廃 収集運搬	01402013221	令和3年6月16日	令和8年4月18日
新潟県	産廃 収集運搬	01509013221	令和6年3月26日	令和11年3月25日
長野県	産廃 収集運搬	2009013221	令和2年12月19日	令和7年12月18日
さいたま市	産廃 収集運搬(積替有)	10110013221	令和2年3月13日	令和6年12月 3日
さいたま市	一廃 収集運搬	第186号	令和3年3月31日	令和5年3月31日
関東運輸局	一般貨物自動車運送業	関自貨2第2391号	平成 7年12月 7日	
関東運輸局	一般貨物自動車運送業	関自貨2第2523号	平成 8年 8月 1日	
埼玉県	古物商	第431250031451号	平成27年 1月27日	

事業の範囲（産業廃棄物収集運搬）

	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスコンクリ陶器	鉱さい	がれき類	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	積替保管施設の概要
茨城県		○				○	○	○	○		○	○	○		○		○	<屋内保管施設>
栃木県		○				○	○	○	○		○	○	○		○		○	保管面積
群馬県		○				○	○	○	○		○	○	○		○		○	114.76㎡
埼玉県	○	○				○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	保管上限量
千葉県		○				○	○	○	○		○	○	○		○		○	89.78㎥
東京都	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	<屋外保管施設>
神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○		○	保管面積
新潟県						○	○	○			○	○	○		○			50.00㎡
長野県						○						○	○		○			保管上限量
さいたま市		○				○	○	○	○		○	○	○		○		○	40.00㎥
(積替保管)		限				○	○	○	○		○	○	○		○		○	＊ 40t台貫設置
																		＊ 3tﾌｫｰｸ 1台

＊ 限：廃電池限定

※ 電子マニフェスト対応

事業の範囲（一般廃棄物収集運搬）

さいたま市	事業ごみ	○	一時多量ごみ	○	し尿	－
	道路公園清掃ごみ	○	特定家庭用機器一廃	○	浄化槽汚泥	－

運搬車両の種類と台数

大型ウイング車 4台	４ｔコンテナ車 3台	２ｔ平車 4台
４ｔ増トンウイング 10台	４ｔパッカー車 3台	
３ｔウイング車 1台	３ｔパッカー車 1台	
２ｔ箱車 2台	３ｔ平クレーン車 1台	計 30台
バン ３台 営業車 3台	おそうじ本舗 １台	総計37台

環 境　経　営 方 針

我が社は、産業廃棄物の処理に係わる業務、営業及び事務活動を通じて、地球環境の保全と汚染予防を、経営の重要課題と認識し、事業活動と地球環境の調和を目指すため、この環境経営方針を策定します。

以下の基本方針により、事業活動によって生じる環境への影響を認識したうえで、環境経営目的・目標を設定し、見直します。また、全従業員が、環境問題に積極的に取り組み、継続的に改善を行います。

事業活動にあたり、汚染予防や環境負荷を低減させるために、次の事項に取り組みます。

1　お客様へ廃棄物分別指導の徹底を推進します。

2　省資源、省エネルギーを推進します。

3　環境保全に関連する法規及び我が社が同意したその他の要求事項を遵守します。

4　全社員が環境保全に対する意識を向上させ、環境方針が理解できるように環境マネジメントシステムの周知、実行、維持を徹底します。

5　コンサルティング営業の推進（廃棄物の分別指導によるコスト削減の提案）する。

6　外部からの要求があれば、環境方針を開示します。

改定日　２０２１年 １０ 月 ２５ 日
株式会社ヤマト
代 表 取 締 役　吉田 孝幸

③ 環境経営目標の達成状況及びその評価結果

目標設定について

各年度ごとに目標値を設定し、前年に対する増減率と目標に対する達成率を算定する。

（目標）増減率は、前年実績対当年目標の増減率とし、（実績）の増減率は本年目標に対する本年実績の達成率を表す

※年度設定（４月１日から翌年３月末日までを１年度とする。）

電力のCO2排出係数は0.505kg-CO2/kWh（2014年度東京エナジーパートナー）

環境目標と実績	単位	’22年度（実績）	’23年度（目標）	’23年度（実績）	’24年度（目標）	’25年度（目標）	’26年度（目標）
電力削減	増減率	98.6%		98.7%		100.0%	99.2%
	kWh	63,811	65,400	64,571	64,500	64,500	64,000
軽油削減	増減率	95.4%		99.1%		99.5%	99.5%
	L	191,657	199,000	197,231	197,000	196,000	195,000
ガソリン削減	増減率	91.9%		97.3%		99.0%	98.4%
	L	18,741	20,000	19,454	19,500	19,300	19,000
二酸化炭素削減	増減率	95.3%		98.9%		99.5%	99.5%
(参考値)	Kg-CO_2	578,707	601,704	595,375	594,840	591,751	588,874
廃棄物削減	増減率	114.6%		95.3%		94.4%	94.1%
	（ｋｇ）	1,100	960	915	900	850	800
水使用量削減	増減率	101.6%		110.3%		100.0%	100.0%
	m^3	256	252	278	280	280	280
環境配慮型サービス	お客様へ廃棄物の分別啓蒙活動。						
収運時の燃料削減	効率的な配車組み。営業エリアの再編（軽油削減に寄与）						

実績とその評価	目標	評価(分析)結果
電力削減	達成	基本的な節電への取り組み（退出時の消灯・冷暖房設定温度の励行等）と共に時間外労働時間の短縮により事務所滞留時間の減少により電力使用量が減少。
軽油削減	達成	エリアの集約とルート回収時の合積みにより、運行の効率化
ガソリン削減	達成	営業車は中長距離移動時ハイブリット車使用。定期運搬業務時ルートの見直しにより走行距離短縮。
二酸化炭素削減	達成	軽油及びガソリンの使用量減少による。
廃棄物削減	達成	敷地内の除草により、廃棄量増加。その他月は予定内の排出量。
水使用量削減	未達成	帰庫後の洗車の徹底。（指示書に洗車記載）
環境配慮型サービス	適宜実施。	
収運時の燃料削減	燃費削減の基本的な運転は基より、既存の営業エリアを含めた、再検討が必要。	

*化学物質の使用が無いため、目標設定をしておりません。

④ 環境経営計画の実施状況及びその評価

取組	環境経営計画	実施状況(評価)及び次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	[電気使用量の削減] 使用していない場所の消灯。 不必要な事務機器の待機電源を切る。 冷暖房機器の温度管理を徹底する。 A/Cフィルターの清掃を定期的に行う。 [車両燃料の削減] エコドライブの実施。 効率的な運行ルートの配車と分析。 車両の点検・整備(タイヤ空気圧等)。 駐停車時のアイドリングストップ。	[電気使用量の削減] ○ ⇒ 引続き継続 ○ ⇒ 引続き継続 ○ ⇒ 引続き継続 ○ ⇒ 引続き継続 [車両燃料の削減] ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施
廃棄物排出量の削減	[コピー用紙使用量の削減] 両面印刷・裏紙使用。 電子メール等を使用し用紙を削減する。 ミス印刷をなくす。 [その他] 紙・ダンボール等はリサイクルする。 トナーカートリッジのリサイクル。 紙コップ等の使い捨て物を抑制する。 ゴミ箱に紙ごみを混ぜない。 分別の徹底。	[コピー用紙使用量の削減] ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施 [その他] ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施
総排水量の削減	[水道使用水量の削減] 蛇口から水漏れが無いか確認する。 水を出しっぱなしにしない。 水洗い洗車時の節水を心掛ける。	[水道使用水量の削減] ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施 ○ ⇒ 引続き実施
	[環境配慮型サービス] お客様への廃棄物の分別啓蒙活動。 [収運時の燃料削減] 効率的な配車組み。（車両燃料削減に寄与）	[環境配慮型サービス] ○ ⇒ 引続き実施 [収運時の燃料削減] ○ ⇒ 引続き実施

環境関連法規等の遵守状況

1） 当社に適用となる主な環境関連法規とその概要（法令ﾃﾞｰﾀ提供ｼｽﾃﾑe-Gov参照）

法規名	遵守事項	評価
廃掃法	■排出事業者として 処理委託契約、許可品目、マニフェスト発行・管理	○
	■収集･運搬業者として 変更届出、許可品目、マニフェスト管理、車両、 飛散･流出防止、帳簿、積替保管	○
自動車リサイクル法	リサイクル費用支払い、廃車時の引き渡し	○
自動車Nox･PM法	窒素酸化物・粒子状物質排出基準	○
浄化槽法	届出、定期点検･清掃、水質検査	○
悪臭防止法	敷地境界線での悪臭の有無	○
フロン排出･抑制法	廃棄時の回収、定期点検	○
道路運送車両法	定期点検	○
埼玉県生活環境保全条例	粒子状物質排出基準	○
さいたま市生活保全環境条例	アイドリングストップ	○
その他の要求事項		－

2） 環境関連法規等の遵守状況及び評価の結果

現在問題点なし。

3） 違反、訴訟等の有無

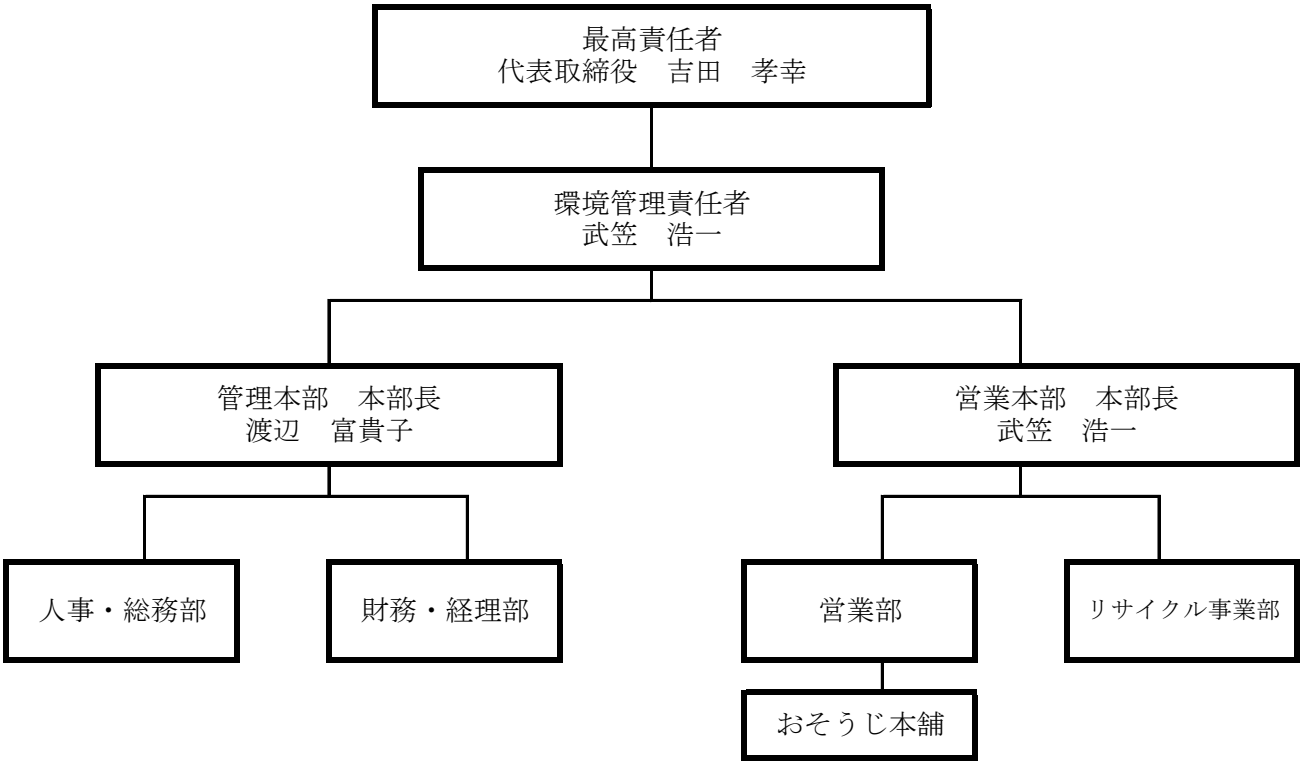
地域住民からの苦情、訴訟等は一切ありませんでした。

代表者による全体評価と見直し

今期の取り組み課題
1 2024年問題に対応した労務環境の改善と一人当たりの生産性の向上。
2 賃金UPの為の運搬費見直し交渉

結果
1 完全週休２日制への移行により、目標とする時間外労働削減目標は達成した。
又担当エリアの見直しにより空車運行、待機時間の削減効果が表れた。
2 事業系一般廃棄物は、環境センターの処理費値上げに適応した価格改定を行った
産業廃棄物収集運搬費値上げ交渉は概ね受け入れて頂けた

組織図


最高責任者
代表取締役　吉田　孝幸
環境管理責任者
武笠　浩一
管理本部　本部長
渡辺　富貴子
営業本部　本部長
武笠　浩一
人事・総務部
財務・経理部
営業部
リサイクル事業部
おそうじ本舗